

(別紙)

厚生労働省の業務改善事例 (平成22年12月第4週までの報告分)

○改善事例1

冬休み期間中における海外での感染症予防に関する注意喚起

【改善点】

冬休みは、海外へ渡航される方も多い時期です。海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるよう、海外で注意すべき感染症及びその予防対策を取りまとめ、厚生労働省ホームページに掲載しました。

(参考) 冬休み期間中における海外での感染症予防について

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou27/101213-1.html>

(以下、上記ページから一部抜粋)

- 海外で感染症にかからないようにするためには、感染症に対する正しい知識と予防方法を身につけることが重要です。
- 渡航先や渡航先での行動内容によって異なりますが、最も感染の可能性が高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。
- 日本での発生は少ないものの、動物や蚊・ダニなどが媒介する病気は、海外で流行している地域もあり注意が必要です。また、WHO が排除又は根絶を目指している麻しん(はしか)、ポリオは、日本での感染者が減少傾向又は発生が認められないものの、諸外国では未だに流行しています。別添において、これらの感染症について紹介します。
- 海外に渡航される方は、渡航先での感染症の発生状況に関する情報を入手し、予防接種が受けられる感染症については、余裕をもって相談しておくなど、適切な感染予防に心がけてください。

(照会先)

健康局結核感染症課動物由来感染症指導係 (内線 2387)

医療調整係 (内線 2928)

○改善事例 2

「安心生活創造事業」の取組事例の追加掲載

【改善点】

「安心生活創造事業」は、厚生労働省が選定する地域福祉推進市町村が実施するモデル事業です。

この事業では、「悲惨な孤立死、虐待などを1例も発生させない地域づくり」を目指しています。各地域福祉推進市町村は、この事業の「3つの原則」に基づいた取組を行います。例えば一人暮らしや夫婦のみで暮らす高齢者や障害をお持ちの方の世帯などであっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。

各市町村における取組については、厚生労働省ホームページに資料を掲載し、紹介していますが、このたび、6市町の取組を追加掲載しました。これらの取組みも参考にしながら、事業を推進してまいります。

(参考) 安心生活創造事業

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/seikatsuhogo/anshin-seikatu.html>

(照会先)

社会・援護局地域福祉課地域福祉係(内線 2859)

○改善事例3

確定給付企業年金の監査資料様式の掲載

【改善点】

確定給付企業年金法に基づき、地方厚生(支)局では、企業年金の監査を行っていますが、このうち書面による監査の対象となる企業年金については、一定の書類を提出いただく必要があります。

この書面による監査の際に提出いただく書類の様式について、各企業年金においてダウンロードして活用いただけるよう、厚生労働省ホームページに掲載しました。

(参考) 確定給付企業年金の監査資料様式について

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/nenkin/nenkin/kakutei.html>

※ 掲載されている書式は、各厚生局で項目の変更を行うこともあり得ますので、詳細については担当する厚生局にご確認ください。

(照会先)

年金局企業年金国民年金基金課

指導調整係 (内線 3327)

○今週の現場訪問・意見交換

社団法人日本介護福祉士会第17回全国大会への参加

【概要】

介護福祉士をはじめ、介護を支える人材の資質向上と量的な確保は重要な課題であり、現在、「今後の介護人材養成の在り方に関する検討会」において、介護分野の現状に即した介護福祉士養成の在り方等について検討が進められています。

こうした状況の中、12月10日～11日の日程で、宮崎県宮崎市で、社団法人日本介護福祉士会第17回全国大会が開催され、厚生労働省職員も参加しました。当日のプログラムは以下の内容でした。

○第1日目(10日：金)

13:00～ 開会式 13:30～ 基調講演(厚生労働省担当)

14:40～ 記念講演

鎌田實氏(諏訪中央病院名誉院長)「がんばらない」けど「あきらめない」

16:10～ 特別講演

藤川幸之助氏(詩人・児童文学作家)「支える側が支えられるとき」

17:30 終了

○第2日目(11日：土)

9:00～ 分科会

第1分科会「高齢者施設・認知症施設における福祉と医療の連携について」

第2分科会「障がい者施設における福祉と医療の連携について」

第3分科会「在宅(高齢者・認知症・障がい者)における福祉と医療の連携について」

13:00～ シンポジウム「福祉と医療の連携：第1部」

14:15～ シンポジウム「福祉と医療の連携：第2部」

【取り組みの状況】

たんの吸引等の医療的ケアについて検討会が開催されている状況で、全国から1,400名以上の介護福祉士が宮崎に集まり、福祉と医療の連携について具体的に討議する意義は大きなものがあると感じました。このような現場の熱気を真摯に受け止め、今後とも、介護人材養成の在り方について検討を進めてまいりたいと思っております。

(照会先)

社会・援護局福祉基盤課指導係(内線2865)

(注) この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。